



クラシノコアゲ応援団! RENGO キャンペーン 全道キャラバン通信

NO.45 2017.5.18 発行責任者 連合北海道組織労働局

STOP! 長時間労働、実効ある働き方改革実現

「全道キャラバン」6日間で1400キロを走破!

5月10日に札幌を出発した全道キャラバン行動は、5月13日(土)夕刻、長万部町で後志地協から街宣車を受け取り、14日(日)~15日(月)の2日間、檜山管内6町を走行した。連合北海道の永田組織労働局長ほか、8人のキャラバン隊により10箇所で街頭演説を行い、また、テープ街宣中、町民に手を振られるなどの激励を受けた。2日間で管内663キロを駆け抜け、翌16日(火)朝、上ノ国にて渡島地協へ街宣車を引き渡した。



15日夜には「ホテルニューえさし」にて、「全道キャラバン行動」檜山集会と「共謀罪の強行を断固許さず廃案を求める緊急集会」として合同開催し、120人の組合員が参集した。

集会で檜山地協の北浦会長は、「命より大事な仕事など無い。我々組織された労働者から長時間労働を是正しよう」と訴えるとともに、「違法な働かせ方を改革していかなければならない」

と挨拶した。また、民進党北海道第8区総支部の福原賢孝副代表から、組織的犯罪処罰法改正案が、衆参での数の力を背景に自民・公明両党が法務委員会で強行採決しようとしていることに触れ、国民不在の独裁的政治に満身の怒りを込めて抗議し、法案の完全廃案をめざそうと連帯挨拶を受けた。次に、連合北海道の永田組織労働局長から、パワーポイントを使った資料をもとに、「全道キャラバン行動を通じて、繁忙期に100時間働いて良いとの誤解を払拭させる世論形成を促そう。現場の労使の取り組みによって、長時間労働の是正と過労死ゼロの実現をめざそう」と分かりやすい基調提起がなされた。その後、北教組檜山支部と自治労北海道檜山地方本部から力強い産別決意表明を受けた。「STOP!長時間労働」および「共謀罪の廃案を求める」2本のアピールが採択され、参加者全体で団結ガンパローと声高らかに三唱し閉会した。



福原賢孝 8区副代表

今後の日程

5月18日	胆振集会	18時00分	苫小牧市勤労福祉センター
20日	日高集会	13時30分	街頭大集会 静内イオン前